▼インテレンス錠　［内］＜2024.3 販売中止＞

【重要度】　【一般製剤名】エトラビリン　etravirine　【分類】抗 HIV 薬［NNRTI］
【単位】▼100mg/錠
【常用量】1 回 200mg を 1 日 2 回
【用法】必ず食後
【透析患者への投与方法】減量の必要なし（1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし（1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【特徴】HIV-1 に対する NNRTI．他の NNRTI 耐性株に対しても効果がある．
【主な副作用・毒性】重篤な皮膚障害，発疹，悪心，下痢，肝炎，腎不全，横紋筋融解症，貧血，過敏症，体脂肪の再分布/蓄積，ニューロパシー，感覚異常など多数．
【安全性に関する情報】QT 延長に関与しない（Peeters M, et al: Ann Pharmacother 42: 757-65, 2008 PMID: 18445705）
【吸収】空腹時投与で F が 51%低下（1, Scholler-Gyure M, et al: Pharmacotherapy 28: 1215-22, 2008 PMID: 18823217）
【F】
【tmax】4hr（1）
【代謝】CYP3A4，2C9，2C19 で代謝される（1）代謝物の活性は弱い（1）CYP3A4 に対して弱い誘導作用を示し，2C9，2C19，P-gp に対して弱い阻害作用を示す（1）代謝物は UGT でグルクロン酸抱合される（Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【排泄】尿中回収率 1.2%で未変化体は検出されない（1）P-gp の基質ではない（Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【t1/2】41±20hr（1，抗 HIV 薬治療ガイドライン 2012）30～40hr（Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【蛋白結合率】99.9%［Alb，AAG］（1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591）
【Vd】資料なし（1）
【MW】435.28
【透析性】除去される可能性は低い（1）
【O/W 係数】LogP=5 以上［1-オクタノール/buffer，pH7］（1）
【相互作用】オメプラゾール併用で CYP2C19 阻害による AUC の 41%増大が認められるが臨床的には問題ないレベル（Scholler-Gyure M, et al: Br J Clin Pharmacol 66: 508-16, 2008 PMID: 18492125）CYP3A4 を誘導，CYP2C9・2C19 阻害，P-gp 阻害（1）
【更新日】20240425

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。